



国際ロータリー第 2500 地区第 3 分区 2014-2015

旭川モーニングロータリークラブ会報

第 1027 回例会 Vol.22 No.32 2015.3.12 (木) 点鐘 PM6:30

Morning Rotary Club

会長：小柳裕子 幹事：嵯城俊明



3月《識字率向上月間》 例会プログラム=オリエンテーション

於：ロワジールホテル旭川 2F アザレア

(3月5日 第1026回例会の記録)



開 会 宣 言 宮永 SAA

只今から、第 1026 回例会を開催致します
小柳会長、点鐘をお願いします！

会 長 挨 拶 小柳 会長

皆様おはようございます。

3月(弥生)、いよいよ春に成りました。

今朝は皆さんにご報告しなければならない事がございます。実は2月付けで竹村陽一さんが当クラブを退会致しました。先月の初めに竹村陽一さんが私の会社にいらっしやいまして、新事業立ち上の準備のため、旭川を留守にする事が多くなり例会に出る時間もとれなくなると思う。クラブに迷惑をかけることに成なるから一度退会させて頂きたいとのお話でした。急な退会という残念なお話でしたので休会という事も出来るので、もう一度考えてみて下さいとお願い致しました。でも結果、最低2年位は時間が掛かるので、やはり一旦退会してまた落ち着いたらモーニングに戻りたいという事に成りました。誠に残念で寂しい事ですが、お仕事が順調に運び又クラブに陽一



さんが戻って来る日を待ちたいと思います。例会等の関係上ご報告が遅くなりました事を、お詫びいたします。それと昨日友重さんにお電話しましたところ、

無事退院されて経過も良好との事です。来週は夜間例会なので、19日の例会には行こうと思っているとおっしゃっていました。

もう一点は、3日早朝に竹澤さん・河崎さん・飛弾野さん・竹村さん・笹川さんは、元気にタイに向けて出発致しました。嵯城幹事と私とでお見送りして参りました。

以上、ご報告ばかりでしたが、会長挨拶と致します。ありがとうございました。

会 務 報 告 嵯城 幹事



- 1) 国際ロータリー第 2500 地区富良野ローターアクトクラブより、創立 30 周年記念式典の案内 収受。日時：4月11日(土) 記念式：14:00～
記念プログラム：16:00～ 懇親会：18:00～
会場：新富良野プリンスホテル 会費：登録料 8,000 円 締切：3月14日(土)
- 2) 国際ロータリー第 2500 地区 名寄ローターアクトクラブより、創立 40 周年記念式典の案内状 収受。日時：月 18 日(土) 記念式典：14:00～
記念プログラム：15:30～ 祝賀会 18:30～

会場 紅花会館広間 会費 登録料 3,000 円 祝賀会：5,000 円 締切：3月5日(木)

- 3) 旭川市内6ロータリークラブより、2月分会報 收受。
- 4) 社会福祉法人旭川いのちの電話より、2月22日付 北海道新聞一面広告「社会福祉法人旭川いのちの電話」PR紙面 收受。
- 5) 2015 IPCクロスカントリースキークラウドカップ旭川大会組織委員会よりプログラム 收受。

誕生祝記念品贈呈 小柳 会長

Happy birthday !!
5日 小川伸治会員



委員会報告 石川 会員研修委員長

次回 12日は夜間例会で、オリエンテーションの後 2Fのアザレアで懇親会と、二次会も設定していますので、おおいに懇親を深めましょう。大勢の皆様の出席をお待ちしています。



ニコニコBOX 福居 親睦委員長 ※3月5日現在 累計 316,690円

林 雅美会員
鎖骨を折ってしまいました。
スタッフ皆さんに左腕になって頂き助けられています。 感謝です。



出席報告 小野寺 出席委員

第1026回(3月5日)例会		第1024回(6月26日)例会	
総員	27名	総員	27名
出席	16名	修正出席	23名
出席率	59.26%	修正出席率	85.19%

委員会スピーチ 大久保昌宜 国際奉仕委員

—しきじ-りつ【識字率】とは?—

ある国または一定の地域で、文字の読み書きができる人の割合。

[補説]ユネスコでは、「15歳以上人口に対する、日常生活の簡単な内容についての読み書きができる人口の割合」と定義しています。

世界の識字率は全体的に上昇しています。しかし、読み書きのできない人は今でも8億9,700万人に上り、※小学校に行っていない児童は、5,700万人いると言われています。※様々な説あり。この数字をみて、どんなことを思いますか? 本や新聞を読んで新しいことを知る。

・道路標識を見て行く先を考える。・手紙で遠くの人に思いを伝える。・お釣りの計算をする。これら、私たちにとってあたりまえの日常生活に必要な「読み・書き・計算」ができる能力のことを「識字」と言いますが、文字が読み書きできない原因と問題点について考えてみたいと思います。現在、読み書きのできない人の3分の2は女性です。読み書きができないと、必要な情報を手に入れることができず不利益を被るばかりか意思や要求を書面で伝えられず、社会的な権利が大幅に制約されます。本人ばかりでなく、国や地域の発展にとっても不利益になります。



では、どんな国が識字率が高く、どんな国が低いのでしょうか？

【アフリカ】		【アジア】	
マリ	23.3%	アフガニスタン	28.0%
ブルキナファソ	28.7%	パキスタン	54.9%
ギニア	29.5%	ネパール	56.5%
エチオピア	35.9%	インド	66.0%
コートジボワール	48.7%	ラオス	73.2%

出所：総務省統計局発行 「15-6 男女別識字率」

アフリカの国々は全体的に識字率が低く、アジアを見てもアフガニスタンはとても低くなっています。なぜ読み書きができない人、非識字者が多いのでしょうか。

1) 学校へ通うべき年齢で教育を受けることができない

国によって教育予算が少なく、授業料が無料ではない国が多くあります。貧困家庭の子どもたちや孤児は、学費を払えず、学用品を買うお金がなかったり、家計を助けるために働かなくてはならないなどの理由から、学校に通うことができない傾向にあります。また、学校の教育の質が低いため「学校に通わせる意味がない」と親が考え、通わせないケースもあります。もちろん、子どもが働かされる理由はもっとあります。

2) 近くに学校がないから

2000年以降、14の国で小学校の授業料が無料化され、生徒数が増えました。しかし、増えた生徒数に勉強を教えられだけの学校がありません。交通手段が発達していない地域で、もっとも近い学校が何十キロも離れていたり、雨季に道路が冠水したり、通学そのものが困難な状況も多々あります。

3) 「女の子は学校に通う必要がない」と言われたから

途上国では、男の子の教育にお金を使う傾向があります。女の子は学校へ通えたとしても学校で性的嫌がらせを受けたり、女性用トイレがなかったり、早すぎる結婚、女性教員が少ないなどの理由で学校へ通わなくなってしまうことが多々あります。そのため、世界の非識字者の3分の2が女性だと言われています。

4) 先生の人数が足りないから

カンボジアでは一人の教師が50人の生徒を、モザンビークでは67人の生徒を教えています。教員の多くは一般的な公務員より安い賃金で働き、病欠中の賃金や年金などの保証もないため、教員の無断欠勤や人数の減少がおきています。2006年にザンビアのNGOが試算したところ、一世帯あたりに必要な生活費410ドル/月に対し、教員の平均給与は191ドル/月でした。タンザニアでは、2000年から2002年の間に教員の42%がエイズ関連で死亡しました。

5) 家で話す言葉と学校で教わる言葉が違う

少数民族が通う場所への学校建設を後回しにする国もあります。少数民族の言語での授業を認めなかったり、現地語を理解する教師が不足していることも多くあります。家で話す言葉と学校で教わる言葉が違うため、勉強についていけない生徒は自然と学校から離れて行きます。

それほど昔ではない幕末の日本は、世界的に識字率が高かったようですが、それでも女子の識字率は21%です。文字の読み書きができることによって、下記のような傾向が見られます。

- 母親が読み書きできると、5歳未満の乳幼児死亡率が低い。
- 女性の識字率が高いと、女兒の就学率も高い。
- 成人識字率が高いと、小学校5年次まで在学する児童の割合も高い。

- 識字率の高い国は、平均寿命が長く、一人あたりの収入や農業生産性が高い。

文字が読めることで、貧困解決に効果があることは統計で現れています。すべての人が読み書きできるようになるためには、年間1兆円の援助が必要とされています。しかし、実際は半分以下の4,600億円しか援助されていません。この1兆円を援助するため、国の豊かさに応じて分担したとすると、日本は1,300億円を援助する必要があります。ところが実際、日本の援助額はわずか300億円です。上記の現状を踏まえ、ロータリーは、地元や海外の地域社会で、基本的教育と識字のニーズに応えると約束しました。3月はロータリー識字率向上月間。

以下に、ロータリアンが世界で教育の改善に取り組んでいる例をご紹介します。

- 台湾のTachia Centennial ロータリークラブでは、学ぶこと、本を読むことの喜びを子供たちに知ってもらおうと、新生児から5歳までの子供用の本を寄贈しています。「[Bookstart](#)」と名付けられたこのプロジェクトでは、台中市教育局が推奨した本が、既に130世帯を超える家庭の子供たちに寄贈されました。
- バハマ諸島にあるNassau Sunrise ロータリークラブでは、地元の幼稚園で毎週、読書の時間を設け、クラブ会員が子供たちに本を読んで聞かせることで、読解力を磨き、本の大切さを知ってもらう取り組みを行っています。

このほかにも、世界の識字率を向上するためにできることは多くあります。例えば、次のような識字プロジェクトを支援することができます。

- カンボジアのプノンペン・ロータリークラブは、この国の[僻村で活躍する移動図書館](#)に対する資金援助を求めています。移動図書館は、司書がボランティアアシスタントとともに運営し、一台につき週に約10町村を訪れます。既に毎月1,000人の利用者が、本を借りるだけでなく、司書が主導して行う読書や物語などの活動に参加しています。
- ケイマン諸島のCayman-Sunrise ロータリークラブは、[地元で行う識字教育支援プログラム「LIFE」](#)の支援者を求めています。このプログラムでは、小学校の生徒が18週間にわたり、毎週4~5日、放課後に読解力向上のための特別教習を受けます。

国の援助政策も大事ですが、私たちロータリアンにはどんなことができるでしょうか。すべての人々が文字を読み書きできるようになる為にはどうしたらよいか、この月間を考える機会としたいものです。

《3月5日 役員・理事会議事録》 嵯城 幹事

※ 4月の理事会は4月2日

※ IMはレンタルバスで、全員で移動。

11時30分出発 ロワジールホテルが発着場所

※ 例会場所変更の件

2階コスモス 食事代一人1,050円 場所代一回10,000円

人数的に収容不可能な合同例会等は会場を変える

次回理事会で審議し決定事項を臨時総会にかける

※ 次年度ガバナー公式訪問日程「9月24日」

会長・幹事懇談会：16時30分から17時

クラブ協議会：17時から18時30分

※ ガバナー公式訪問例会：18時30分から19時30分

広報委員会：笹川和廣(長) 井上雄樹 佐藤克司